

ページ

- 2 復興へ ～復興に向けて活動されている方々を紹介～
「株式会社 GM7」
- 4 コロナに負けるな!
みやぎを元気に!!
- 特集
6 障害者スポーツをみんなで楽しもう
- 8 国勢調査にご協力ください
- 10 おいしいものがたくさん!
まんぷくみやぎ
- 県産食材・花を買って、みやぎを応援しよう
- 11 施設の感染拡大防止対策を支援
みやぎお知らせコロナアプリ(MICA)
- 県政ニュース
- 12 3km²以上の土地への土砂等の
埋立て等は許可が必要です
- 13 県の広報に関するアンケート
- 15 みやぎニュースクリップ
- 16 7つの地域から虹メール
- 18 お出かけガイド
- 20 みやぎのふるさと通信(川崎町・亘理町)
- 21 県立施設インフォメーション
- 22 県からのお知らせ

みやぎの人口(令和2年6月末現在)

住民基本台帳人口	2,285,985人	世帯数	1,014,619世帯
男	1,114,867人	※うち、外国人住民基本台帳人口は22,792人です。	
女	1,171,118人		

今号の表紙

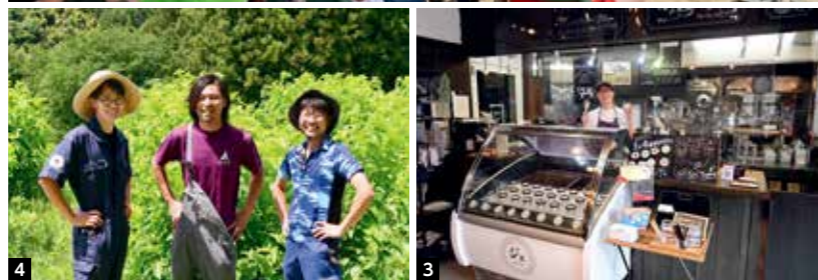
美味! 幻の魚ホシガレイ

県は、ホシガレイの栽培漁業に取り組んでいます。ホシガレイは今年開催予定だった全国豊かな海づくり大会で放流予定でした。

一般的なホシガレイは1kgほどですが、写真のものはなんと5kg。大きいほど味が良いホシガレイ、一度は食べてみたい!(写真は七ヶ浜の漁師 本田正勝さん)(関連記事10ページ)



仙台・宮城観光PRキャラクター むすび丸



【写真の説明】1伊達政宗初陣の地、金山をバックに笑顔あふれるGM7の皆さん。2令和元年東日本台風で被災した丸森たんぼぼこども園の植樹式で演奏する旅太鼓と子どもたち(R2.6.17)。3丸森町の食材を使用したジェラート屋「GELATERIA LA FESTA」4地域の方から引き継いだ3%の畑を管理するアグリチームの皆さん。

これからの事業計画を考えていました。自らも被災したことで、企画コンセプトを「復興」へと変え、東日本大震災で被災した名取市閑上の佐々木酒造店さんとともに、「復興の光」になれるようイタリア語で「光」という意味の「LUCE」という日本酒を開発しました。

— 地域の方との関係は? —

GM7は地域の方の応援に支えられて活動しています。若い人が新しいことにチャレンジする姿勢を応援してくれる町の雰囲気があるので、何かやろうとしていると、地域の方がサポートしてくれています。私たちのモットーは隠さないこと、100%愛を持って接することです。地域にどんなことがあろうとみんなで乗り越えられるという自信があります。

— これからの展望は —

いろいろな価値観を持つ人が丸森で「HAPPY(幸福)」に生きていけるように



株式会社GM7
代表取締役 齊藤良太さん(写真中央)
代表取締役COO 音羽幸保さん(写真左)
執行役員 ハピネスクリエーション部長 兼旅太鼓チーム長 濱野友也さん(写真右)

したいです。それぞれのライフスタイルや働き方など、求める生き方を実現できる場所として、多様性を受け入れられる地域になっていけると思っています。

— 台風の被害は? —

令和元年東日本台風で丸森町は大きな被害を受けました。私たちがオフィスが1.5ほど浸水し、10月12日にデビューしたばかりの「いざ初陣」1号が被害を受けました。しかし、東日本大震災とは異なり、物理的な被害が主だったことや、被災した地域が局的だったため、支援の手が早く届いたことから、早くに復興のイメージが持て、復活のろしを上げてやろうという気持ちでした。日中は泥かきなど復旧作業を行い、夜は



1

復興へ

復興に向けて、県内の各地域で活動されている方々を紹介します

株式会社 GM7

丸森町は、令和元年東日本台風で大きな被害を受けました。その中で、町の地域商社として、多岐にわたる事業を展開して丸森の魅力を発信しているGM7の齊藤代表取締役と音羽さん、濱野さんにお話を伺いました。

— 会社設立の経緯は? —

私(齊藤さん)は、東京のIT企業で働いていましたが、2011年に、偶然、仕事で石巻を訪れたとき、東日本大震災が発生しました。そこで、自分の考えががらりと変わりました。悲しんでいる人、苦しんでいる人を目の当たりにし、地域を何とかしたいと思うようになりました。しかし、優秀な人材が首都圏・世界に流れてしまっている現状では、IT分野などの新しい分野ではなく、すでにある農業・観光資源の見せ方を変えることに勝機があるのではと考えていました。

からの地域の特産品をブランディングし、今まで興味を持っていなかった若い人や県外の人に紹介しています。生産者の思いや、つくる過程といった背景を一緒に発信することで、地域のことを知ってもらうきっかけになっています。

また、丸森町のコシヒカリ「いざ初陣」を使い、クラフトビールや、山形銘菓オランダせんべいとコラボした「おニャンだせんべい」をつくっています。今は若い人の米離れが進んでいるのですが、ただ、「お米を食べよう」と言うのではなく、身近に感じてもらえるよう見せ方を変える工夫が大切だと考えています。

2016年1月にGM7の親会社であるVISIT東北を設立しました。活動の中で、丸森町役場と縁ができ、町の調査や企画を支援するコンサルタントとして活動を始めました。しかし、町が必要とする担い手がなかなかいなかったことから、町外から集まってきた仲間で地域商社を立ち上げ、事業を始めることにしました。丸森町との縁、そこにあった人やチャンスを紡いでいった結果が、GM7の誕生です。

— 活動の内容は? —

大きく分けると物販、農業、飲食、観光の4つの事業を行っています。

例えば、物販は、特産品開発や販路拡大の取り組みで、あんぼ柿やへそ大根など、昔

また、観光は和太鼓チーム「旅太鼓」が出張演奏のほか、太鼓の体験イベントを行い、外国の方に楽しさを伝えていきます。令和元年東日本台風のときには、被災した丸森町の一日も早い復興への願いを込めて、和太鼓の演奏を行いました。どんなときにも前向き地域を盛り上げようとする姿に、涙を流す地域の方もいらっしゃいました。

— 台風の被害は? —

令和元年東日本台風で丸森町は大きな被害を受けました。私たちがオフィスが1.5ほど浸水し、10月12日にデビューしたばかりの「いざ初陣」1号が被害を受けました。しかし、東日本大震災とは異なり、物理的な被害が主だったことや、被災した地域が局的だったため、支援の手が早く届いたことから、早くに復興のイメージが持て、復活のろしを上げてやろうという気持ちでした。日中は泥かきなど復旧作業を行い、夜は